

《開催概要》

1. 日時 2023年3月24日（金） 15:00~17:00
2. 場所 JPタワー37階 D.Forum
3. 出席者（敬称略）
 - 《革新事業創造戦略会議 委員》
 - 粟生 万琴 株式会社LEO 代表取締役CEO
 - 石川 良文 南山大学総合政策学部 教授
 - 内田 俊宏 中京大学経済学部 客員教授
 - 鬼頭 雅弘 名古屋大学学術研究・産学連携推進本部 教授
 - 佐藤 航太 名古屋商工会議所 産業振興部長
 - 佐橋 宏隆 STATION Ai株式会社 代表取締役CEO
 - 柴山 政明 愛知県経済産業局 革新事業創造部長
 - 山下 哲央 一般社団法人中部経済連合会 イノベーション推進部長
 - 《アイデア提案者》
 - 戸谷 俊介 株式会社プロドローン 代表取締役社長
 - 竹島 周作 株式会社プロドローン 取締役・経営管理部長
 - 森内 倫子 株式会社プロドローン 営業部長

《議事次第》

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 題
 - (1) 優れた提案の選定について
 - (2) 2022年度の活動報告及び
2023年度の革新事業創造戦略の推進について
4. 閉 会

【座長挨拶】

○内田座長

本日は年度末の大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。既にご案内の通りですが、本県の産業構造はさらに高度化していくにあたって、STATION Aiの整備とともに、革新事業創造提案プラットフォーム（A-idea（アイデア））を運用していただいております。A-ideaについては、会員数も200件を超えておりますし、アイデアは少し少な目ではありますが、実現性の高い案件も出てきていると聞いております。シーズ

も多数登録されておりますので、この流れの中で本県の革新事業を創造していくうえでのメルクマールとなるような成功例が出てきてほしいといった状況の中で、本日は優れた提案の選定や、今年度の振り返り・来年度の動きに関する議論をしていただくことになっております。よろしく願いいたします。

【議題（１）は提案者のビジネスアイデア等の知的財産権保護等の観点から議事録非公開】

<議題（２）：事務局説明>

資料３に基づき説明

（内田座長）

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について皆様からご意見・ご質問あればお願いいたします。

（石川委員）

補助金の話がありましたが、申請は５月で締め切るとのこと、その申請をする際には優れた提案になっていないといけないということは、来年度の案件は今回優れた提案に選定された提案のみということでしょうか。

（事務局）

革新事業を推進する体制について、行政が主導するものなのか、官民共同でやるものなのか、民間主導のオープンイノベーションでやるものなのか、３つに分けて考えています。今回優れた提案に選定された提案は官民共同の案件になりますので、補助金案件としては採択されていません。次回以降の戦略会議で民間主導の補助金対象事業の提案を、別途委員の皆様には審査いただければと思います。

2023年度の補助金の予算額は5,000万円になりますので、例えば、補助上限額である1,000万円の案件が5件採択されればその時点で終了という流れになります。補助金の予算額に達しない場合には、追加募集をします。

（内田座長）

例えば5月までの公募期間における補助金申請額の合計が4,500万円となった場合、次の案件の補助上限額は500万円なのか、もしくは1,000万円までなのか教えてください。

（事務局）

予算額が5,000万円になりますので、積み上げた金額が5,000万円になるように調整します。5月までの公募期間における補助金交付決定額の合計が4,500万円となる場合追加募集の案件の上限金額は500万円となります。なお、5月までの公募期間における補助金申請額が5,000万円を超える場合、上位の点数の提案を優先しますので、採択されたうち最低

点の提案については、補助金申請額の合計が 5,000 万円を超えた部分は交付されないというところで合意できれば、その分を差し引いた金額で交付することになります。

(鬼頭委員)

予算の執行期間はいつまででしょうか。

(事務局)

原則、交付決定日から 2024 年 3 月下旬までと考えています。ただし、補助金の仕組みとして、事前着手届を提出することで採択以前に補助事業について実施した部分についても、4 月以降であれば補助金の対象にしたいと考えています。

(鬼頭委員)

新あいち創造研究開発補助金との違いを教えてください。

(事務局)

新あいち創造研究開発補助金は研究開発に重きを置いており、革新事業創造事業費補助金は実装を視野にいれていることが大きな違いになります。また、補助金の目的自体がプラットフォームに出てくるアイデアの早期実装を図るといったことなので、目的も大きく異なると考えています。

(山下委員)

官民共同の場合、ワーキンググループ (WG) を組んでいくということですが、WG 自体に対しての補助金などはないのでしょうか。

(事務局)

官民共同案件はアイデアとして採択されたものについて、WG の中で具体化していきます。検討する事項として法制面・体制面・経済面・実現手法などがありますが、経済面についても WG でこういった支援が必要だということを検討し、具体化してプロジェクト化する段階で県の事業として公募するなどし、具体化を図りたいと考えています。

(山下委員)

民間主導の案件に 1,000 万円/件の補助金を交付するとのことですが、官民共同の場合はこれから革新事業を創っていくということで、事業を推進しようとしたら何十億・何百億円かかってくると思います。それぐらいの規模感でやっていかないと革新事業を創っていけないと思いますので、民間主導の場合は 1,000 万円規模の支援で革新事業が出てくる、この戦略会議で採択するというイメージが浮かばずギャップを感じているのですが、そのあたりいかがでしょうか。

(事務局)

本来革新事業創造戦略の主目的は官民連携プロジェクトを作っていくことになりますので、必要な支援は規模も大きくなるでしょうし、県だけでは対応できない事項も多く、国予算の活用を働きかけていくことも当然あり得ます。

一方で民間主導のプロジェクトはオープンイノベーションの土壌を作っていくという目的もあり、補助金はプラットフォームを活用してもらうための呼び水としての役割もござ

います。鬼頭委員から発言のありました新あいち補助金と規模感が違うのは、県の補助金としての役割分担が異なるとご理解いただければと思います。

(山下委員)

そう考えると、提案は出てくると思いますが、今回採択した提案が基準になって、これと同等のもが出てくることを想定すると補助金 1,000 万円というのが呼び水になるのかというのが心配です。

(柴山委員)

自動運転の例だと、キャッシュ以外に県の事業としての位置づけで国交省や警察庁との調整を行ったので、「金額よりも、それ以上のこともバックアップしていきますという」イメージでいました。

(山下委員)

そうすると「愛知県のサポートが欲しい」ということがインセンティブになるのであれば、提案者は官民連携を求める気がします。民間主導案件は順調に提案が出てくるか心配がありますね。

(鬼頭委員)

民間主導から官民共同に持っていくということもあるでしょうか。

(事務局)

来年度は出てきた提案のブラッシュアップも事業として行っていくので、どの枠組みを使った方がいいのかということも含めて、検討していきたいと思います。

(鬼頭委員)

今回優れた提案に選定したような案件がいきなり出てくるわけではないと思いますので、例えば民間案件で 1,000 万円規模の補助金の申込があったところから、官民共同案件などの他の枠組みに誘導していくのもいいのではと思いました。

(内田座長)

ありがとうございます。官民共同を軸にこれからは民間主導案件を県がサポートをしていくことも出てくると思いますし、単なるアイデアから始まる案件でも 1,000 万円はありがたいと思います。

(石川委員)

今の関係でいうと多分段階があって、アジャイル的な種みたいな話から、事業化するような話まで。おそらく県は今種から育てていくところをやっていくイメージじゃないでしょうか。もっと熟度が高まってきたら投資家が投資するイメージを持っていますが、どうでしょうか。

(山下委員)

民間主導案件について、この戦略会議の審査のレベルにあてはめると優れた提案に選定されなくなってしまう。そして革新事業として採択されず補助も受けられないというストーリーになるのではというのが私の心配です。熟度が高まって申請すれば優れた提

案に選定される水準になると思いますが、本当に単なるアイデアやシーズだけだと、官民共同での基準がある中で100点を超えることは難しいのではと考えています。

(石川委員)

官民共同と民間主導案件と少し審査の基準を変えないといけないと思います。官民共同は熟度が高く、行政としても支援しなければならないようなものを後押しして、民間主導案件でシーズみたいな話は、まだまだ熟度が足りないのでブラッシュアップしながら進めるイメージかなと。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。基準については少し見直した方が良いと思いましたが、改めてご相談させていただきます。

(石川委員)

今回1件の採択になりましたが、その他のアイデアについても次年度以降の回で審査委員がブラッシュアップしていくのか、それとも出てきたものを審査するのか、我々の役割はどこまででしょうか。

(事務局)

その点についても基準と合わせて検討をして次回までに回答させていただきます。

(内田座長)

プラットフォームの改良という点でストーリーを付加するというお話がありましたが、採択されるアイデアのレベル感がわかるような紹介があると良いと思います。

(山下委員)

逆にそのリリースが基準になってしまい、このようなアイデア出せないよ、となってしまうように注意が必要です。

(内田座長)

「こういったレベルでもブラッシュアップしますよ」というアプローチを記載してあげるといいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。今回優れた提案に選定されたアイデアについて、WGをどのように設置しようかということも検討したうえで、4月下旬から5月頃に知事から発表することを考えています。その中で何が公表できるか調整したうえで、こういったものが革新事業に採択されるといった成功事例や一つの基準を示していきたいと思えます。

(内田座長)

なるべくビジュアルでも分かるようにしていただきければと思います。

それでは活発なご議論をいただきまして、以上で本日の議題をすべて終了いたしました。今年度最後の戦略会議ということになりますが、来年度も引き続き委員の皆様と優れた提案の選定など行っていければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上